資料 2021-高度化 WG4-1

情報通信審議会　情報通信技術分科会
広帯域移動無線アクセスシステム委員会
BWA 高度化検討作業班（第 3 回）議事要旨（案）

1　日時
平成 22 年 10 月 29 日（金）　13：00～14：15

2　場所
総務省 11 階　1101 会議室

3　出席者（敬称略）

主　　任　：　若尾（電波産業会）

構　成　員　：　伊藤（欧州ビジネス協会）、大橋（代理：千葉 Wireless City Planning（株））、金辺（地域 WiMAX 推進協議会）、上村（（株）ウィルコム）、瀬戸（（株）NTT ドコモ）、中川（（財）テレコムエンジニアリングセンター）、中村（（株）フジクラ）、要海（代理：斎藤 UQ コミュニケーションズ（株））

事　務　局　：　田原、中里、和田、服部（総務省移動通信課）

4　配布資料

資料 2021-高度化 WG3-1	第２回 BWA 高度化検討作業班議事要旨案	【事務局】
資料2021-高度化WG3-2	BWA システム高度化に伴う干渉検討の組み合わせ	【事務局】
資料2021-高度化WG3-3	モバイル WiMAX と他の無線システムとの干渉検討について	【UQコミュニケーションズ】
資料2021-高度化WG3-4	XGP と他の無線システムとの干渉検討について	【ウィルコム】
資料2021-高度化WG3-5	広帯域移動無線アクセスシステム委員会報告骨子案	【事務局】

5　議事

(1) 前回議事要旨について

事務局より事前に送付していた、資料 2021-高度化 WG3-1 前回作業班の議事要旨案の確認が行われた。意見等がある場合、1 週間以内に事務局に連絡することになった。

(2) BWA システム高度化に伴う干渉検討の組み合わせ

事務局より、資料 2021-高度化 WG3-2 に基づき、BWA システム高度化に伴う干渉検討の組み合わせについて説明があった。

(3) モバイルWiMAXと他の無線システムとの干渉検討について

UQ コミュニケーションズ斎藤代理人より、資料 2021-高度化 WG3-3 に基づき、モバイル WiMAX と他の無線システムとの干渉検討についについて説明があった。

主なやりとりは以下のとおり。

若 尾 主 任 ： 資料 2021-高度化 WG3-2 で干渉検討の組み合わせが横棒（ー）のものも、干渉検討を行っているのか。

斎 藤 代 理 人 ： 想定される全てのケースで干渉検討を実施した。

若 尾 主 任 ： 横棒（ー）のものの中でも、干渉検討を実施したものと、検討対象外のものがある。整理をしてもらいたい。

中 村 構 成 員 ： N-star との干渉検討で、モバイル WiMAX が与干渉の場合の GB 60MHz で実施した結果は記載されているが、地域 WiMAX が与干渉の場合の GB 47MHz で実施した結果も、モバイル WiMAX と同様と考えていいのか。

斎 藤 代 理 人 ： 資料 2021-高度化 WG3-3 の 14 ページ目にあるように、GB が 47MHz であっても、結果は同じである。

若 尾 主 任 ： 資料 2021-高度化 WG3-3 の 2 ページ目のマトリクス中の干渉検討結果を見ると、数字が非常に大きく、共用可能とは読み取れない。

斎 藤 代 理 人 ： 共用条件の基本的な考え方は前回の審議と同様である。干渉検討結果の数字が大きくとも、BS 間であればサイトエンジニアリングによって干渉回避が可能であるし、MS においても、モンテカルロシミュレーションにより、実運用に即した干渉確率から共用可能という結論になった。

若 尾 主 任 ： モンテカルロシミュレーションは MS 間しか実施していないのか。

斎 藤 代 理 人 ： 実効上、BS-MS 間ではシミュレーションができない。従って、BS-MS 間では、平成 18 年度に行われた GB1MHz での干渉検討結果をもとに、共用可能かどうか判断した。

(4) XGP と他の無線システムとの干渉検討について

ウィルコム上村構成員より、それぞれ資料 2021-高度化 WG4-4 に基づき、XGP と他の無線システムとの干渉検討について説明があった。

主なやりとりは以下のとおり。

中 村 構 成 員 ： 資料 2021-高度化 WG3-4 の 6 ページ目の、高度化 XGP の BS から高度化地域 WiMAX の SS モデル 0 への干渉検討で、「3dB 未満の差はほぼ同程度」と記載されているが、異論はないものの、委員会報告書にその旨しっかりと記載するとととも、共用の際には、これまでと同様の配慮をいただくことを望む。7 ページ目の高度化 XGP の MS から高度化地域 WiMAX の SS モデル 0 への干渉検討についても同様。

また、6 ページ目の高度化 XGP の BS から高度化地域 WiMAX の BS モデル 1、2 については、実際に事業者間調整が必要と考えるが、これまでと同様に調整させていただきたい。

上 村 構 成 員 ： 1、2 点目については承知した。3 点目については、ご意見として尊重させていただき、報告書に明記するかどうかは、別途検討させていただ

きたい。

瀬戸構成員　：　資料 2021-高度化 WG3-4 の 2 ページ目のマトリクスでは、高度化 XGP の電力が 20W 以下となっているが、40W 以下の間違いではないか。

上村構成員　：　誤記である。干渉検討も 40W で実施している。

瀬戸構成員　：　N-star の衛星帯域での高度化 XGP のスプリアスに変更はないか。

上村構成員　：　2660MHz から 2690MHz についてはスプリアスの変更はない。

瀬戸構成員　：　資料 2021-高度化 WG3-4 の 12 ページ目について、GB10MHz では 23dB という結果が出ている。現在受信耐性向上化の端末を売り出しているが、新型端末は 20dB の改善量しか見込まれていないため残り 3dB の所要改善量は残る。従って、GB が 20MHz の場合と同様に、GB10MHz でも事業者間調整をするということを報告書に明記してほしい。

上村構成員　：　基本的には同じ考え方であり、承知した。

伊藤構成員　：　UQ コミュニケーションズと同様に、計算のプロセスも明示してほしい。また、13 ページの隣接チャネル漏えい電力について、帯域に変更はないか。

中川構成員　：　スプリアスや送信バースト長など変更点が多いので、測定法について相談していきたい。このような改正の理由はなにか。

上村構成員　：　XGP の将来的な発展を考慮し、XGP フォーラムの変更点を踏襲したもの。また、小電力レピータについては、変更なしと記載したものの、帯域幅など干渉検討にかかわらない部分については、再度精査させていただきたい。

若尾主任　：　5 ページや 10 ページの表において、XGPBS の高度化によって、旧よりも 20dB 上がっている原因はなにか。単に基地局の電力や利得の増加だけではないと思われる。

上村構成員　：　スペクトラムマスクの変更による影響かと思うが、誤りがあったら訂正する。

中村構成員　：　GB5MHz の検討をしていただいたが、参考までに委員会報告にも盛り込んでいただきたい。

上村構成員　：　承知した。

若尾主任　：　細かい変更点が多数あるため、整理をする必要がある。

事務局　：　干渉検討については、表現ぶり等、統一した表現を用いて整理する。

(5) 広帯域移動無線アクセスシステム委員会報告骨子案について

事務局より、資料 2021-高度化 WG3-5 に基づき、広帯域移動無線アクセスシステム委員会報告骨子案について説明があった。

主なやりとりは以下のとおり。

若尾主任　：　第 3 章と第 5 章の章題が似通った表現で紛らわしいので、第 3 章の表現を変更するべき。

事　務　局　：　承知した。

若尾主任　：　4.2 WiMAX と 4.3 XGP というように分けてしまうと、重複する部分が出てくる。BWA システム相互間の干渉検討と、BWA システムと N-star との干渉検討というように、重複がないように区分したほうがよい。また、同じ意味で用語がばらばらに使用されているようなので、用語は統一したほうがよい。

事　務　局　：　委員会報告の構成については、中身が冗長にならないように整理をする。

若尾主任　：　5 章の技術的条件では、WiMAX の高度化を行うと、地域 WiMAX も含まれたものができるというイメージでよいか。

事　務　局　：　そのとおり。

(6) その他について

事務局より、意見陳述の募集については、申し出がなかったこと、次回の作業班では委員会報告案を審議するため、平成 22 年 11 月 5 日の午前開催を予定していることについて連絡があった。

以上